

10のThink & Act

- 1 食の安全にこだわります。
- 2 健康な食べ方を大切にします。
- 3 国内自給力アップをめざします。
- 4 遺伝子組み換え作物を認めません。
- 5 有害物質ゼロをめざします。
- 6 自然資源を大切に使います。
- 7 ごみの削減に取り組みます。
- 8 原発のない社会をめざします。
- 9 おたがいにたすけあう社会をめざします。
- 10 自分たちで決めて、自分たちで実行します。

生活クラブの消費材

私のアクションが世の中を変える



生活クラブでは、取り扱う食品や生活用品を、利潤追求が目的の「商品」ではなく実際に使う人の立場にたった材であるという思いを込めて「消費材」と呼んでいます。今年度は、生活クラブが定める「消費材10原則」のそれぞれをもとに、消費材を通して社会が抱える課題の解決をめざす生活クラブ生協都市生活の取り組み、「私のアクションが世の中を変える」を組合員に知らせます。

生活クラブの消費材10原則 第10原則：独自基準を定め、自主的な管理をすすめます

原材料の調達から生産、流通の各段階で独自の基準を定めて、自主的な管理と点検をすすめます。そして、共に学び、高め合うことができる制度を継続・発展させます。

● 「持続可能な生産と消費」推進制度

消費材はデビューして完成ではなく、現在進行形です。生活クラブには、生産者と組合員が力を合わせて消費材をステップアップさせる、「持続可能な生産と消費」推進制度があり、自主基準の新設や改定、自主基準登録、消費材Step Up点検などからなっています。この仕組みはだれかひとりが頑張れば成立するものではなく、組合員と生産者がともに協力しあうことと、ひとりでも多くの組合員が、ほんの少しでも関わることでつないでいける仕組みです。

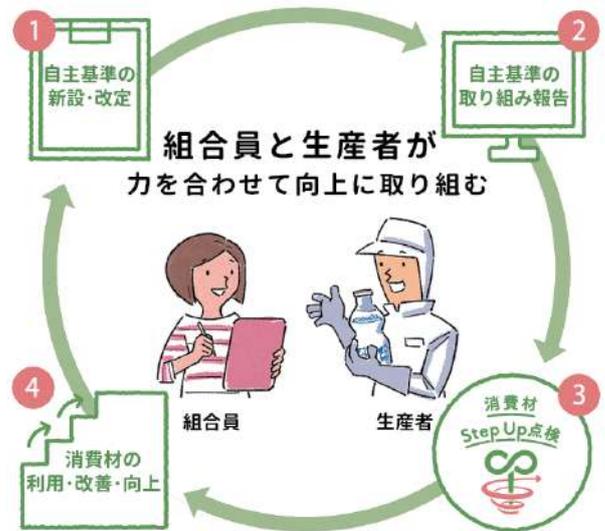
● 自主基準ってどんなもの？

自主基準は『消費材をつくり・育てるための“ものさし”であり“ガイドライン”』です。消費材10原則に基づいて、組合員と生産者の代表が、毎年、必要に応じて調査や点検、基準の新設や改定を行っています。

自主基準は「推奨レベル(目標)」「標準規格(遵守)」「要改善規格」の3種類で構成されます。例えば推奨レベルは、除草剤不使用、畜産での飼料用米の導入など。標準規格は、許容していない食品添加物の不使用など。要改善規格は毒性の強い農薬の不使用など。どれも私たちが生活するうえで「こうだったらいいな♪」と思うことばかりですが、実現し続けるのはなかなか難しいことです。

● 生産者による“自主基準登録”

生産者は、前述の自主基準に沿って「自主的努力項目」「自主基準登録」「基準検査」について、毎年取り組み状況を点検し、報告



しています。と、書くのは簡単ですが、「自主的努力項目」ではレベルアップのための個別具体的な事例報告を、「自主基準登録」では推奨レベルと標準規格の達成度合いを“消費材ごとに”報告をします。「基準検査」では消費材及び原材料が自主基準を満たしているか検証し、検査結果を報告することとされています。取り扱う消費材の数、消費材に含まれる原材料の数…それらが多ければ多いほど生産者の負担は大きくなりますが、安全なものを作りたい、組合員に安心して消費材を利用してほしいとの思いで、どの生産者も真摯に取り組んでくれています。

2Pに続く



公式ウェブサイト

機関紙「都市生活」カラー版既発行分はこちらで。



Facebook ページ



Instagram

生活クラブの消費材

私のアクションが世の中を変える

第10原則：独自基準を定め、自主的な管理をすすめます



消費材 Step Up 点検

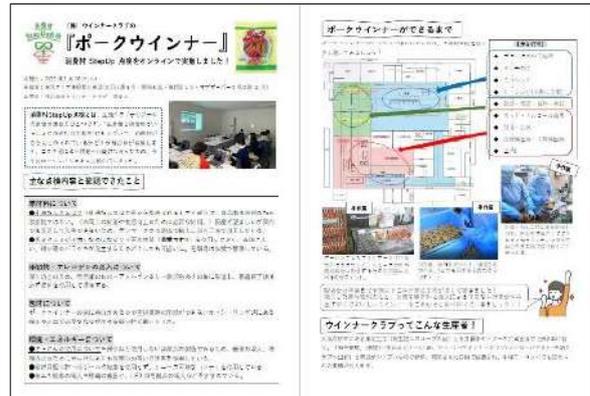
これまでの実績と2030年目標



「消費材 Step Up 点検」は、組合員が生産現場を訪問し、消費材が自主基準に沿ってきちんと作られているか点検をする活動です。原材料の調達から生産、流通、消費、廃棄にいたるまで全工程を生産者と確認し合い、改善した成果が今の消費材に生かされています。そして、2020年からのコロナ禍で現場訪問が難しい時期や生産者もあったため、2021年度から新たにオンラインによる点検も始まりました。

● 『ポークウイナー』の点検

1/26(木)、北神戸支部が『ポークウイナー』(生産者：(株)ウイナークラブ)をオンラインで点検しました。ポークウイナーを選んだのは、「よやく・る」で利用している家族みんなのお気に入りポークウイナーが、どのような基準でどう作られているかを詳しく知りたいから。



北神戸支部クリエイター作成の活動広報紙

スケジュールは、3月の「支部のつどい」で点検の報告会をした！ということから検討しました。流れは①消費材を選定②生産者に申し込む③事前学習会④点検当日、そのあとは⑤点検報告書作成⑥活動広報紙作成、そして⑦報告会です。

参加者のほとんどは点検活動自体が初めてで、事前学習会も当日もかなり緊張していましたが、製造工程や衛生管理の様子がわ

かる映像や画像を生産者に用意してもらえたおかげで、スムーズに点検できました。

● 持続可能な生産と消費のために

オンライン点検の取組みが始まるまでは、製造現場の様子を肌で感じられない、生産者の負担が大きいなど様々な観点から反対意見もありました。ただ、実際に始まってみると、工場などへの立ち入り人数の制限がない、小さい子どもがいるなど遠方に足を運びにくい組合員が参加できる等、より多くの組合員が参加できるメリットがあり、現場訪問、オンラインそれぞれの特性を活かすことが、持続可能な生産と消費を支える力になるとわかってきました。

組合員なら誰でも参加できる、生活クラブならではのこの活動。開催のお知らせを見かけたらぜひ皆さんも参加してみてください。より一層消費材と生産者への愛着が湧きますよ。



オンライン点検当日の様子。前日の大雪の影響で自宅から参加した組合員も。オンライン点検でよかった！

「消費材 Step Up 点検」をもっと知りたい！と思ったらこちらから。



まぐろ油漬缶 4缶組
(ライトミート・フレーク)
698円(税込754円)

たまにカタログに載るL'sのまぐろ油漬缶とは、漁獲した船が外国船籍か日本船籍かの違いだけ。以前参加した交流会で、生産者から中身が同じと聞いて、安心して使い続けています。

丸ごとの冷凍キハダマグロをカットして蒸し、手作業で加工。国産野菜から煮出したスープと生活クラブ提携生産者の

塩、国産の米油で味付けし缶詰加工しているから、私はうまみがたっぷりの油も捨てた事はありません。何にでも使えますが、我が家では、刻んだ青ネギと万能つゆを加えて作る和風パスタが大好評です。材料を混ぜるだけなのに、専門店に負けない美味しさです。(あれば)最後に、かつお細けずりを乗せれば、香りと深み加わります。



(濱田尚美)



アクティブシニア講座 実践編①



人生100年時代を迎えた今、更年期以降に訪れる様々な身体の変化を知ること、より豊かで充実した自分らしい人生を送りたいですね。今年度、生活クラブ連合会「健康な食」推進課の猪狩さんや(株)パラマウント・ワーカーズ・コープの佐藤さんをお迎えして「アクティブシニア講座」を3回連続で行いました。



そこで学んだことを、私たちのBioサポートチームで分かりやすく伝えるために「実践編」を2回に分けて開催。2月9日に実践編①として、ランチ神戸学園都市で「健康寿命を延ばすヒント」をイラストやBioサポートダイアリー※を見ながら説明し、たんぱく質を手軽にとれる「さば缶レシピ」を紹介しました。参加されたベテラン組合員の方々には初対面にもかかわらず、消費材の話で盛り上がり、和やかな講座になりました。

※組合員の健康づくりのサポートを目的に生活クラブ連合会が2021年に発行した冊子

★健康寿命を延ばすヒント

その1 社会とつながろう！

人と関わる時間を持つことは、活力のある生活につながります。生活クラブにはさまざまな活動があります。たとえば「ほっとコミュニケーション」。消費材について学んだり、生産者を招き、その消費材にかける想いや苦労・喜びなどの話を聴いたり試食したりする中で、消費材を知る機会となります。オンラインでの実施もあります。

その2 体を動かし筋力を保とう！

健康のために重要なことのひとつが自分の足で歩き続けることです。そのためには骨と筋力の維持が欠かせません。

まずは、日常の動作(家事・仕事)も体を動かす機会と考えて意識しましょう。手軽に始めることができ、体への負荷も少ないウォーキングや「ラジオ体操」などを始めてみるのもおすすめです。

その3 栄養バランスの良い食事をしよう！

1日3回の食事の中で肉・魚・大豆・卵などのたんぱく質が入っている食材を意識して摂りましょう。

年を重ねるうえで、たんぱく質はとても大事な栄養素です。忘れてはいけないのが骨の健康！歩ける体を保つために骨の健康はとても重要です。そこで欠かせないものがカルシウム。牛乳はカルシウムの吸収率が特に高い食品です。そのまま飲んでおいしいパステライズド牛乳を毎日の食事に取り入れましょう！



講座内容をまとめてパネルにしたものを、西宮市消費生活展で展示しました。



まごわやさしいひじきの煮物

～ Bioサポートレシピより ～
(都市生活組合員が投稿したもの)

< 材料 > 4人分

- ・さば水煮缶 1缶(190g) ・ひじき 15g ・にんじん 30g
- ・こんにゃく 90g ・ささがきごぼう 30g ・しいたけ(乾) 1枚
- ・万能つゆ 大さじ2 ・ごま油 小さじ2 ・絹さやまたはいんげん 少々



< 作り方 >

- ① ひじきは水でもどして適当に切っておく。こんにゃく、戻したしいたけも細かく切っておく。
- ② 鍋にごま油を熱し、①とささがきごぼうを入れて炒める。

- ③ ②にさば缶を汁ごと加え、万能つゆを加えて汁気がほとんどなくなるまで加熱する。
- ④ 仕上げに斜めに切った絹さやを加えて、しばらく加熱してできあがり。

「食えることから始める平和 2022」

1月20日
神戸市中央区文化センター
18名参加(職員3名含む)

学習会報告

～ 私たちが食料戦争の加害者に?? ～

平和を守り、つくり出すために私たちに何ができるかを身近な食を通して考える機会として、2019年度からこの企画を継続しています。今回は「私たちが食料戦争の加害者に??」をテーマに、生活クラブ関西でカタログ作成他を統括されている綾田直朗業務部長に、お話を伺いました。

食料の外国依存が続くと…

戦後、日本の食卓に小麦が登場したり、学校給食がパン食になったりして輸入が増えました。牛乳を絞れば絞るほど赤字になっている酪農家の現状、日本のブロイラー(鶏肉)の98%は外国鶏種であり国産鶏種は2%であること、種子法が廃止され農産物の要である種子を守るために今後どのような取り組みが必要か、などの話を通して、日本の食料がどれだけ外国に依存しているかを目の当たりにしました。このままの状況が続く、紛争や戦争で国際取引が止まれば、2年以内に日本人の少なくとも6割が餓死するとの研究結果が出ています。わたしたちは待たなしの食糧危機に直面しているのです。



生活クラブが発行するOPINIONチラシも参考にして、日本の食料問題について話を聞きました。



生活クラブを伝えよう!

参加者からは、「食の問題と世界の平和や歴史が深く関わっていることが心に響いた」「個人でできることには限りがあるが少しでも自給率が上がるように選んで食べていきたい」「生協の力

を結集していくことがとても大切」などの感想が出ました。

共同の力で社会の問題を解決していく協同組合への期待は高まっています。知って選んで買うことを基本に、国産の食べ物、生産者を大切にしている生活クラブの取り組みの意味を伝える、そんな日々の活動がいかに大切なのか改めて確認できた企画でした。

(理事 菊田宏子)



100円のたすけあい

問合せ先：組織部(078-904-3260)中田

リニューアルで使いやすくなりました

突然ですが、例えばこんな時、あなたならどうするでしょう? ●大きな震災で被災した方に募金…する? しない? ●迷子の子がいたらお母さんを探るか迷子センターに連れて行く…する? しない? ●近所で力を貸してほしい組合員がいたら力を貸す…する? しない? すると答えた方でエッコロ未加入の方は、是非すぐに加入して力を貸してください。皆さんの力を待

12月

エッコロたすけあい制度利用状況

加入者：1,397人

給付申請件数	12件
給付金額	21,650円
事務費(審査会会場費、交通費、活動費)	9,340円

エッコロサークル結成1件

っている方が近くにいるかもしれません。エッコロ、それは月100円のたすけあい! 加入するだけで、誰かの助けになっています。皆さんの力をお待ちしています。

(コーディネーター 肥田智世子)

遊びに来てね♪

■みんなのひろばリーチ■

多世代がつながる居場所づくりをめざしています。申込みは本部センター(小松)か、ウェブサイトから↑↑↑



月2回、あすパークで開いています。

(第2金曜と第4火曜) 10:30~12:00

JR六甲道駅近く、大和公園内の「あすパーク」で開催。1家族200円 1人100円

3/28 アルバムのある暮らし



もっと知りたい!

民衆交易と balan ゴンバナナ

オルター・トレード・ジャパン(ATJ) 生産者交流会

1月25日、神戸市中央区文化センターの会場と組合員自宅とをリモートでつないで、生産者交流会をハイブリッド開催しました。当日は最強寒波のため交通の乱れがあり、会場に来られる予定だったATJの吉澤さんはリモートに変更になりました。

オンラインで交流会

ATJの吉澤真満子さんから、フェアトレードと民衆交易の違いや一般バナナ栽培の問題、balan ゴンバナナの民衆交易が始まった経緯や民衆交易がもたらす影響について、またどのようにバナナが作られて日本に届けられているのかの話を聞きました。

そして、balan ゴンバナナ生産者の一日を動画で知り、4人の生産者からは生の声を聴くことができました。「農薬を使わない安全なバナナを作っているのだから安心して食べてください。」「必ず買い取ってもらえるので、生活費や子どもの教育費に役立っています。」などの声があり、「2021年の台風で甚大な被害がありました。日本からたくさんの支援をいただきました。」との報告もありました。



参加者 ATJ社の吉澤さん、ATPI社から12人、現地生産者4人
会場参加組合員12人、自宅参加組合員15人



交流会当日、参加者には手作りのバナナパウンドケーキが配られました。

balan ゴンバナナは「よやく・る」品目です。

「よやく・る」というしくみは、組合員と生産者の約束という意味表示なので、民衆交易においてもとても重要なことであるとオルタートレード・フィリピン(ATPI)のノルマ社長が言われていました。

会場では、balan ゴンバナナ、食育プロジェクト田淵さん作のバナナケーキを味わいました。今回、生産者、ATJ社とATPI社、組合員で交流ができ、一緒に作り上げ互いに支えあう関係であることを直接感じることができました。(理事 片山由香里)

民衆交易とは…民衆どうしの交易を通して、奪い・奪われない自立した共生の関係をつくっていくこと。

フェアトレードとは…発展途上国との貿易において、公正な取引をすることにより、途上国の人々の生活を助けるしくみ。



パンセの「看取り」

パンセ武庫之荘は、認定NPO法人都市生活コミュニティセンターが運営するサービス付き高齢者向け住宅(サ高住)です。

= ● = ● = ● =

現在の日本では大半の方が住み慣れた自宅で最期を迎えたいと願っているにもかかわらず、約8割が病院で亡くなっているという現実があります。そこでパンセではそのような願いに応えるため、これまでお伝えしてきたように高齢者の集合住宅(ハード面)と多面的な介護サービス(ソフト面)とを組み合わせさせた事業を行うことにより、開設から5年の間に14名の方を在宅で看取ってきました。これは、ご家族・主治医・訪問看護等の他の事業所、そしてスタッフらみんなの連携の賜物です。

終末期の特徴として、ご本人は食欲と体力が低下してだんだんと眠っている時間が長くなり、夢と現実をいったりきた

りするような状態になります。そして多くの方は脱水状態になります。やがて唾液がうまく飲み込めなくなり、痰が絡んで苦しそうなときは吸引することもあります。吸引も苦痛の伴う処置ですから、口の中に溜まったものを綿棒などでそっとぬぐってあげます。これも連携してみんなで行います。

ご家族には、その時に出来ること、話しておきたいことは先送りしないように伝えます。しかし基本的には何か特別なことをするのではなく、ご本人の安楽を優先し、そばで見守ってもらいます。そして、いつものように話しかけ、手を握ってもらいます。きっとその言葉や想いはご本人に伝わっています。ご家族の声を聞きながら過ごす事は何よりの喜びであると思います。

これからもパンセでは、ご本人が自然に自分らしく最期を迎えられるように、そしてご家族の不安や心配を軽減し落ち着いてお別れが出来るように、スタッフ一同出来る限りの看取りのお手伝いをさせて頂きたいと考えています。

(サービス計画作成責任者 佐々木京子)

10支部で活動しています。

生活クラブ生協では、さまざまな組合員活動に取り組んでいます。尼崎から姫路まで、配達エリアが東西に長く広がっているため、組合員が活動に参加しやすいように、配達エリアを10に分けた「支部」で多彩なイベントを企画開催、活動しています。



組合員が運営しています

支部活動を運営しているのは、消費材が大好きな同じ組合員です。コロナ禍で企画への参加が以前に比べて減り、これまでのようにモニター(※1)の登録者は増えず、クリエイター(※2)など運営メンバーのなり手が減っています。

消費材の良さを知ってほしいし知らせたい、生活クラブの良さを伝えたい、その為にまずは自分が知りたい。支部活動を支えているのは、そういう思いを持つ組合員一人ひとりです。

「自ら考え、行動するわたし」

自ら生活クラブを選んで組合員になったあなただからこそ、さらに、一歩踏み出して、今の暮らしをより良いものに、自分の力で変えていきませんか？まずは、近くで開催されるイ

ベントに参加してみましょう。生活クラブならではのイベントがたくさんあります。そこから組合員どうしの輪が広がります。つながりが生まれます。

※1 モニット

所属する支部の組合員なら誰でもなれます。生活クラブ生協をよりよく知るために、1年間を通じて支部ミーティングに出席し、学習、交流、試食などをします。モニター登録のお問い合わせは本部センターまで。(078-904-3260)

※2 クリエイター

支部のつどいで選ばれた支部運営をする組合員です。私たちの活動が広がるように、支部ミーティング・ほっとコミュニケーションなどの支部の企画を考え、実行します。本部会議や、学習会で得た情報を共有し、支部活動につなげ、毎月、支部機関紙を作成し発行します。

今月の組合員

生活クラブとの大切な繋がり

西森 里香さん 宝塚支部 2009年12月加入

結婚後、近所で新鮮な魚肉類が手に入らず困っていた時に、家のポストに入ったチラシを見て加入しました。気軽に始めたつもりでしたが、カタログや情報誌を読んでいると、自力ではなかなか見つけられない情報を得ることができ、今では生活に欠かせないものになりました。

産後の子育てひろばをきっかけに、モニターとして支部ミーティングに参加。生活クラブは自分たちも参加できる生協なんだと改めて実感しました。

春からは、前&現理事にご縁を繋いでいただきクリエイターとして活動することになりました。子育てひろばでは、親子ともに良い仲間や経験に恵まれ感謝の日々でしたので、次は私に出来ることがあれば！という想いでおります。

== * == * ==

【お詫びと訂正】2月号「今月の組合員」の白石理恵さんは南神戸支部所属でした。ここにお詫びして訂正させていただきます。



= 切り昆布のサラダ仕立て =

140g(70g×2) 340円(税込367円)



最近ハマっているのがこれ。切り昆布ときくらげに人参が入って、薄く酢とだし味がついています。味付きなのでそのまま食べても良いし、いろんな料理に使えます。

サラダ仕立てって書いてありますが、野菜や油揚げと煮たり、炒めたり、卵焼きの具にしてもOK。私が大好きなのは、何と言ってもやっぱりサラダ。家にある野菜を切ってちぎってこの切り昆布と混ぜます。豆腐も合いますよ。ちょっと贅沢に薄切りの豚肉をゆでて和えると、豚の脂の甘みと昆布の旨味が相まってめっちゃおいしいです。野菜が山盛り食べられて幸せを感じます。味が足りない時はポン酢やドレッシングを足してみてください。2袋入りで2回に分けて使えるのも便利です。

(監事 影山陽子)

徒然都市生活

姿勢と健康のお話を しています

生活クラブ生協では多彩な組合員活動が盛んです。
さまざまな場所で元気に活躍する仲間を紹介します。

姫路支部 喜多 かほるさん

生活クラブ生協に加入して、はや 7 年。
美味しい食材だけでなく、組合員どうしの助け合い、“エコ
コトたすけあい制度”が始まり、困った時に助け合える心強さ
を感じています。
私もエココト講師に登録して、エココト講座で姿勢と健康の
つながりについてお話しさせて頂いています。先日もスマホを
使うことで起きるからだの異変として、ストレートネックや指
の変形についてお伝えし、首に良い枕の高さや硬さなどと、ス
トレッチをご紹介しました。

今やスマホが欠かせない時代だからこそ、からだの負担を考
えて長時間同じ姿勢でしないとか、片手だけで操作しないなど、
使い方に気を遣って頂けるとからだの異変を少しでも軽減でき
ると思います。姿勢の話にご興味ある方は、ミニ講座など開催
できますので、是非ご連絡下さい。

組合員として、何かお役に立てる事があれば嬉しいです。



ランチ神戸学園都市で行ったエココト講座にて。
ストレッチの実践もありました。(2022年11月)



理事会報告

- 2022年度第8回理事会報告 2023.1.30.10:00~16:30 於:中央区文化センター
出席理事:18名、出席監事:3名 オブザーバー1名*今回より組織部長陪席
以下、報告承認事項(3項目省略)・協議決定事項(4項目省略)
1. エココト審査会報告を受け、12月申請分12件中、12件の給付とエココトサ
ークル登録1件を承認した。12月のエココトキャンペーンで、新規加入者
168人・ケア者登録48人があった。
 2. 12月度生活クラブ関西運営委員会の会議報告を受け、内容を確認した。
 3. 原子力発電推進・GXに関連し、4件のパブリックコメント提出を報告承認した。
 4. 2023年度職員体制・配置について、経営会議提案を報告承認した。
 5. 連合会報告・方針事務局案への単協意見について常任整理原案を協議決定した。
 6. 2023年度第37回通常総代会の開催関連事項として、各支部総代数・役員分担
について決定。選挙管理委員の打診状況を受け、次回理事会で任命承認とする。
 7. 12月度決算時点での22年度事業着地見直しを受け、23年度事業計画予算策
定方針・起点数値について、常勤提案を承認した。
 8. 機関紙都市生活3月号企画について協議決定した。
 9. 2023年度方針策定について、策定会議から検討状況の報告を受け、協議した。
 10. 2023年度つなぐ！リレー生産者交流会の開催、持ち方について組織委員
会からの提案を承認した。実行委員会は置かず、各支部生産者交流会をリレ
ーしていく形で開催する。
 11. 第3次中期計画案について原案をもとに検討協議した。
(会議報告)
- 連合理事会、各委員会の報告および各担当理事会の報告を共有した。
(事業報告)
- 12月度決算報告を確認した。供給高は計画+1,302万円。供給剰余率が予算
より高く、経費は予算▲173万円で、経常剰余金は予算を550万円上回っ
た。通常通りの年末割りが奏功した。
- 12月加入は計画を51名超過と好調。1月加入はほぼ計画並みの見込み。脱
退は、長期未利用者の意志確認に伴う脱退15名を含み96名で、計画より19
名少ない。1月度供給は、2週の5%オフキャンペーン、3週の豚肉普及価
対応の結果がよく、供給高予算を超過達成できる見込み。

都市生活 Q&A

Q カタログ注文とは別に登録で届く野
菜セットについて教えてください。

A それは契約野菜「畑の便り」の事です
ね。近隣の生産者が育てた無農薬・無
化学肥料の野菜が、カタログよりお得な価格設定で、お任せで
届くシステムです。ファミリーセットは約1600円、ミニセット
は約800円で、量と価格は週によって変動します。野菜が沢山
採れる時期に多くて使いきれないとやめたり、市販の野菜が高
騰した時だけ利用したりという人がいますが、近年の気候変動
で作りにくくなっている中、農薬に頼ることなく、私たち組合
員が食べる約束をして作っ
て頂いている野菜です。そ
んな「畑の便り」をまず一年
間利用してみませんか？



お問合せは配達職員か本部
センターまで。
(写真は冬のミニセット)

持続可能な牛乳の生産と消費のために

4月から、「牛乳応援基金」が始まります。厳しい現状が続く酪農を、私たち生活クラブ組合員の食べるチカラで応援していきます。

このままでは牛乳が・・・

日本の酪農家が、これまでに経験したことのない大変な「経営危機」に直面しています。数年前のバター不足を受けて生乳の生産を増やす努力がされてきましたが、コロナ禍で需要が落ち、また昨今の社会情勢でエサとなる飼料が高騰し続けていることなどが要因にあります。生活クラブの牛乳生産者の多くも経営がひっ迫しており、このままでは生産が続けられないかもしれない・・・そんな状況となっています。

これからも飲み続けたいから

生活クラブの牛乳は、組合員が望む牛乳をもとめて酪農家と提携し、作り、飲み続けてきた代表的な消費材のひとつです。72℃15秒で殺菌するパステライズド牛乳は、鮮度のいい生乳だから生産でき、また、一般的な超高温殺菌牛乳(120℃以上2秒殺菌)と比べて、有用な栄養成分がたくさん残っています。

また、900mlだと多すぎるから・・・と利用できなかった方にも朗報です。4月2回(15週)より、200ml×2本企画の取り組みも始まりますよ。



みんなで
生活クラブの牛乳を
飲みましょう!

牛乳応援基金を設立

4月から牛乳1品目につきプラス2円を基金とし、酪農家の応援費として寄付します。

この牛乳を未来にもつないでいくために、みんなで牛乳を飲んで生産を支えていきましょう。計画的な生産ができ、私たちもおトクに購入できる、「よやく・る」で利用してくださいね。



200mlびん牛乳が2本1組で登場!
「よやく・る」で利用してくださいね♪
192円(税込207円)+2円(基金)

職員こぼれ話

事業部

大原 光輝

生活クラブ生協の職員が、日ごろの業務、身のまわりのできごとを通して見たもの、聞いたことをお伝えします。

日々の暮らしの中で思うこと

局地的な大雨や台風の規模が大きくなるなど、近年の天候からは地球温暖化の影響を懸念せずにはおれないが、こと身近な四季の営みにはこれまでとほぼ変わりなく毎年同じように繰り返されているものも多い。

毎年ほぼ同じ日に花が開き、鳥が訪れ、鳴き声を聞かせてくれ、虫も姿を表し季節の到来を教えてくれる。遠い昔から人々が感じ取ってきた季節感はまだ健在なのだ。ただ、本当にこのまま変わりなく営み続けられるのだろうか? 地球の環境の変化が多く生物たちの暮らしに決定的な変化をもたらすまでには時間が必要なだけかもしれない。これからも四季の営みが途絶えることのないよう、そのことを念頭に置いて過ごしていかなければ...

2023年1月号より

機関紙モニターの

第8原則 温室効果ガスの排出削減...



リユースびんだとCO₂の排出量がグラフでわかり、リユースびん20回再使用でなんと77%のCO₂が削減できる! すごいなど思いました。以前「リタとリサ」という本をもらって読みました。息子も気に入って何度も読んでと言うのでたくさん読みました。リサイクルをしても、びんを割って溶かして、またびんの形にするためにたくさんのエネルギーを使うため、CO₂の排出量が増える。またリサイクルびんが割られてカレットでいる間に、リユースびんは何度も中身が入れ替わって使ってもらえる。とってもエコで良い取り組みだと思いますので、生活クラブのRびんで届く消費材を積極的に利用したいと改めて思いました。(姫路 瀧澤恵美)

編集雑感

2023年度最終の機関紙都市生活をお届けしました。この機関紙は全て組合員が執筆、編集、レイアウトを担当して作っています。今年度も滞りなく届けられて、ホッとしています。(T)